

# 三條別院のご案内



真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

## 三條別院に想う

年に数回、私は三條別院へと通っている。今年やすつかりと私の趣味の一つとなつてしまっているお立花、その勉強のためである。もともと私と立花との出会いは縁のある他のお寺さんからの紹介であつた。「細川くんお花好きそうだから見学に来てもらんよ」そんな言葉に私は誘われることの嬉しさもあつて、全く断ることを考えずにすぐさま三條別院に足を運んだのである。「圧巻」の一言であつた。初めて意識をして目に入れたお仏花は、私がそれまで自分のお寺で立てていたお花とは全くと言つていいほどに違うもので、これこそがお莊嚴であると思つたのである。美しく力強く圧倒的な花の前で、感動し立ち尽くしたのだ。私は、今まで自分が立てていたお花のことを考えると恥ずかしさすら感じたのである。その日のお花を忘れないようにして、いつか自分でも立てることができるようになりたいと思つたのである。それから私は年に数回、三條別院に通わせてもらつているのだ。お寺にお参りをした時、お花をしつかり見たことがあるだろうか、見たことが無い人は今度お参りした時にぜひじっくりと見て欲しい。特に報恩講の時などはびつくりされると思う。お花という生きた莊嚴を見ることによつてまた心

を洗われるのではないだろうか。同時に阿弥陀様に手を合わせる時もよりさらに気持ちのシヤンとするかもしれない。私がそうであつたのだ。

もしあの時、私が三條別院に行かなければこの縁が巡つてこなかつたと思うと感慨深い。この立花が趣味になつたことによつて私の人生が十年後、二十年後や五十年後が全く変わったかもしれないのである。お花が好きになり、お参りがさらに好きになつたのである。おかげで実家のお内仏や、お墓のお花にも心が向くようになったのだ。そんな三條別院にはこれからも勉強に行き続けたいと思つている。私にとつての三條別院とはお参りの場所でもあり人生の中での大切な縁を頂いたところでもあるのだ。

### 第十七組護念寺 細川 敏祐貴 氏

○次回の「三條別院に想う」は、

柄沢 幸一氏（有限会社つるがや社長）より  
ご執筆いただきます。

### 別院境内地総合整備事業計画（中間報告）

境内の大型バス通行路の確保及び松葉幼稚園新学舎建設後の現学舎跡地における駐車場整備等を中心とする境内地総合整備事業計画は、三條別院土地有効活用検討委員会（青木仁委員長

第二十組圓周寺）において。現在、調査・検討が行われています。総合整備事業計画（答申）は今後、二〇一七年二月を目途に提出される見込みですが、このたび、本紙中ページに現時点における計画図を掲載いたし、中間報告とさせていただきます。

### 煤 払 い 奉 仕 団 報 告

十二月十日、十一日と第十八組すす払い奉仕研修が行われました。

十日は、旧御堂にて三條市（旧下田村）のかわもしか病院の医師、内田桂太氏から法話をして頂きました。内田先生は、医師でもあり僧侶の資格も持つておられる方であり、「真宗大谷派には親鸞の浄土の教えがこうである」と明確に言えない自信のなさがあるのではないかと、厳しく指摘されました。また、仙台教区の寺院から得度されている内田氏は、『歎異抄』（『真宗聖典』628頁）の「慈悲に聖道・浄土のかわりめあり」という文

から「ものをあわれみ、かなしみ、はぐくむ」ことをしないことを導くのは誤りであると指摘され、医者として実際に何千人もの人々の死と生にむきあつてきた者として、常にそのことを考えざる





を得ないと語られました。東日本大震災における宗派の動きについても遅いのではないかと発言されましたが、反論も多くあり、質疑応答は充実したものでなりました。後の懇親会の席では、あえて「明確に言わない」ことの意味や、他の宗派のようにそれでも自信をもって伝えるほうがよいのか等、歓談しながら法話の内容について座談をできる場となったように感じます。

翌十一日には、輪番が御本尊の煤を、浄円寺住職が宗祖真向の御影の煤を払い、その後別院有志の会も加わり、参加者二十七名で別院の今年最後の大掃除を行いました。お取り越しが終わり、煤払いも終わると別院の行事も残すところ除夜の鐘一つになります。本堂、旧御堂として書院も今年一年の煤が取れ、新たな気持ちで修正会を迎えられそうです。

## 除夜の鐘・修正会のご案内

### 除夜の鐘

◇日時 十二月三十一日(土)

午後十一時四十五分より

◇場所 三条別院鐘楼堂



◇受付 教区同朋会館

○受付場所にて、温かい飲み物を振舞います。  
修正会

◇日時 二〇一七年一月一日(日)

深夜午前零時より

◇場所 三条別院本堂 旧御堂

○お勤め後、輪番による新年の挨拶

### ★除夜の鐘×今泉×いつもここから

除夜の鐘の整理券を「今泉(そば)」または「いつもここから(ラーメン)」に持参すると、五百円で年越しそば(ラーメン)が食べられるなど、特別サービスが受けられます。

## 宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◇日時 一月二十八日(土) 午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

中富 正純氏(第二十三組福照寺)

—『歎異抄』に聞く【第十三章】—



◆今後の講師一覧

- 二月 森田成美 (三条別院輪番) 【年頭会】
- 三月 木村邦和氏 (第十三組専行寺) 【第十四章】
- 四月 濱松智弘氏 (佐渡組勝廣寺) 【第十五章】
- 五月 中原 龍氏 (第十六組福成寺) 【第十六章】
- 六月 安原陽二氏 (第十二組安浄寺) 【第十七章】

## 定例法話会

毎月十三日の前門首のご命日(両度の命日)に行っている定例法話会は一月は休会です。二月からの御講師は左記の通りです。講題等は、次号でお知らせいたします。

◆日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後一時三十分より(二時間程度)

◆場所 三條別院 旧御堂

◆講師

二月～四月 武樋和嘉子氏(第十五組浄覺寺)

五月～七月 永寶晴香氏(第十組浄敬寺)

## その他の講座案内

〔月一回、午後六時～八時〕

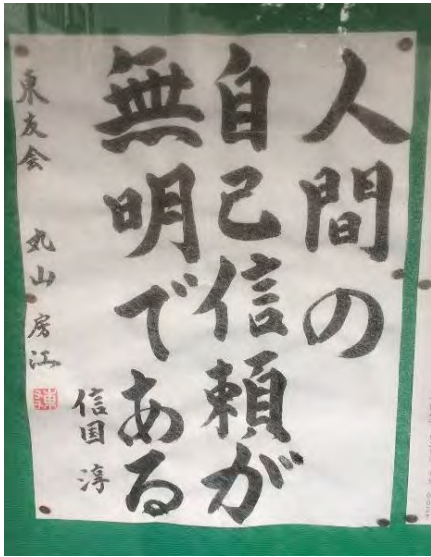
新年は二月から再開いたしますので、詳細は次号お知らせいたします。

### ○別院書道教室

〔月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分～八時〕

講師 木原光威氏（新潟県書道協会理事）

月謝 二七〇〇円（テキスト代含む）



【掲示板の法語も交代で書いています】

## 随時募集中

### ○三条別院巡回

三条別院の御影をお迎えして、聞法会を開催しませんか？

### ○別院奉仕研修

日程及び内容についてはご相談ください。

◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日一五〇〇円

◎食事代（昼・夕食は業者発注）

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

### ○庭講（清掃講）

二〇一五年九月に結成されたお講です。現在講員大募集中です。ぜひ、御一緒に清掃奉仕と十三日の定例法話の聴聞をしませんか！

### ○三条別院有志の会

もともと三条別院のお朝事にお参りしている門徒からはじまった清掃奉仕・法話・座談を中心とした有志の会です。月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

### 退任のご挨拶



十二月二十日をもって三条別院の会計職を退任いたしました。三年という期間でしたが、教区のみなさま、また輪番はじめ職員の皆様方に支えられて、どうか経過がすことが出来ました。本当にありがとうございます。

私も年老いて来ましたが、昨日で、♪「むかしのことなら覚えちやいるが、昨日のことだとなかなか思い出せねえな」という状況が出て参りまして、体力の衰えも自覚するようになりました。おかれた場所では、もう花が咲かないので、自分の居る環境を変えてみようと思います。

ただ、三条別院に三年も身を置きながら真宗の法務について、まるつきり習得してないので、しばらくは業務の引継ぎがてら、非常勤職員として別院に通いながら勉強させて頂く予定です。七百五十年の御遠忌を終えましたが、今度は幼

稚園の建て替えに伴う諸業務が始まりました。あわただしいことです。一つを終えようと、また何かがついていきます。休む暇がないのは、人の一生と同じなのでしよう。

別院あたりをフラフラ・ウロウロしておりますので、お見掛けの際は気軽に声を掛けください。

前会計 有坂次郎

### ◆◆編集後記・新任のご挨拶◆◆



去る十二月十五日、松葉幼稚園の新園舎建設工事が開始されました。二十七日現在、鐘楼堂脇の駐車場スペースに建設重

機が入りアスファルト・樹木等の撤去を行っております。工事期間中は駐車スペースの確保が非常に困難になってしまい、誠に申し訳ございませんが別院・教務所に御用のある皆様には旧御堂前のみ駐車して頂く状況です。ご不便をおかけしますが何卒よろしくお願いいたします。さてこの度、有坂会計の退任に伴い会計の任を私が引継ぐこととなりました。私が別院にお世話になるようになりもうすぐ五年。新たな任を預かり、改めて気持ちの引き締まる思いです。今後皆様と共に歩んで行きたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

会計兼列座 松浦寿公



お取り越し露店市などで本寺小路が通行止めとなる場合でも、大型バスが東門から正門を經由して念仏小路（図左下）へ通行できるようにします。

現学舎解体後、80台程度を収容できる駐車場を整備します。

老朽化が著しい塀を改築します。

計画策定上の課題（中間報告）

- （1）新しく整備する駐車場には、消雪パイプや外灯の設置が望まれるが、当初の想定規模（2千7百万円程度）を1～2千万円上回る経費を必要とすることが見込まれるため、必要経費の削減方途あるいは計画の縮小を検討する必要がある。
- （2）総合計画としては、本寺小路からの参道部分の整備を含めた計画として総合的かつ短期的に進めたいところではあるが、このたび三条市へ寄付する念仏小路へとつながる路線となることから都市計画との兼ね合いがあり、地域における道路の至便性に関する意識等、進捗に時間を要することが懸念される。

# 三条別院全体計画図

2016年12月



同朋会館裏の駐車場は、小規模の会議や別院・教務所にご用の方に利用いただきます。

平常時は駐車場を除き境内全域を車両進入禁止とし、園児の安全を確保します。境内には柵や塀等を設置せず、報恩講や法要時には、従来通り一般車やバスの通路・駐車場として使用することを可能にします。

西門前駐車場と茶所講駐車場を隔てている塀及び段差を解消し、月極駐車場として活用します。

正門を本堂寄りに改築し、大型バスが右折できるようにします。